

アーティスト・ワークショップ SKYSCAPES —空をめぐる想像の時間—

講師 野又 穫 (美術作家)

空は私たちにとって身近な、なじみ深いもののひとつです。

その一方で、普段の忙しい生活のなかでは、空は当たり前にある風景になりがちで、ゆっくりと眺めたり、思いをめぐらせたりする機会は少なくなっているかもしれません。

今回のワークショップでは、美術作家の野又穫さんを講師に迎え、空をテーマとした作品の制作をおこないます。
夜明けの空、真昼の空、^{たそがれどき}黄昏刻の空、^{よいやみ}宵闇の空。

季節や時間とともにうつろい、その表情を豊かに変える空に、私たちはいつの時代も惹きつけられてきました。

今、日常のなかで見過ぎてしまいがちな空を、もういちど見つめてみませんか？

空だけではなく雲、虹、雨、雪などにも思いを馳せ、その思いをかたちにしてみることで、

今までは見えなかったことや、自分の隠れた心情に気づくことがあるかもしれません。

野又さんと一緒に、空をめぐる想像の時間を楽しんでみませんか？

2018年3月18日(日)
11:00-16:30 ※昼休憩含む

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：一般（中学生以上）

定員：20名 ※事前申し込み制

参加費：無料

持ち物：昼食

申し込み方法：

国立新美術館ホームページの申し込みフォームより、

2018年2月16日(金) 17:00から3月9日(金) 15:00までの期間に申し込み手続きを行ってください。

※申し込みフォームを公開する時間は予告なく変更になる場合があります。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※必要事項に記入漏れがある場合、受付をお断りすることがあります。

※参加の可否については、3月9日以降にEメールでお知らせいたします。

※参加者ご本人以外の方の見学、当日参加は固くお断りします。

※申し込み時にご記入いただいた個人情報はワークショップ実施のためにのみ使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

問い合わせ先：03-5777-8600 (ハローダイヤル)



野又 穫(のまたみのる)

1955年東京生まれ。1979年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。

絵画、立体、版画、ドローイングなど様々な表現方法により、

現実には存在しない建造物をモチーフとして数多くの作品を発表している。

主な展覧会に「カンヴァスに立つ建築 -Architecture on Canvas-」(2004年、東京オペラシティアートギャラリー)、

「もうひとつの場所 -野又穫のランドスケープ / Alternative Sights」(2010年、群馬県立近代美術館)、

「空想の建築 -ピラネージから野又穫へ」(2013年、町田市立国際版画美術館)など。

主な作品集として『視線の変遷 / Points of View』(2004年、東京書籍)、

『もうひとつの場所 / ALTERNATIVE SIGHTS』(2010年、青幻舎)、

『ELEMENTS - あちら、こちら、かけら』(2012年、青幻舎)などがある。

Official Website: <http://www.nomataminoru.com>



Canon

NIHON SEKKEI

国立新美術館の教育普及活動は、株式会社 日本設計、
キヤノン株式会社より御支援をいただいています。



THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO

国立新美術館